資料４

平成 29 年 6 月 22 日
地　域　医　療　課

「災害時における医療救護班簡易活動マニュアル（卓上型）」の作成について

１　課題

災害時、医療救護所において医療救護班等は軽症者の処置等を行うことになっているが、医療救護所における具体的な活動や従事者間の役割分担等が不明確となっている。

２　策定の目的

医療救護所従事者が、いつ起こるか分からない災害に対し、適切に行動、活動するために、発災直後から超急性期を中心に、時系列ごとに整理した簡易マニュアルを作成する。また、周知・啓発も重要であることから日常的に目にすることができるよう卓上型の仕様とする。

３　卓上型マニュアルのイメージ

⑴仕様

サイズ：Ｂ６（128×182mm）
カラー：フルカラー
加　工：両面印刷（24 ページ or31 ページ）、
　　　　ダブルリング卓上カレンダー加工

12 ヵ月型の場合は、平成 30 年１月始まりで 24 ページ。
日めくり型の場合は、（完成次第使用可能で）31 ページ。

⑵特徴

・イラストや写真を使い視覚に訴えるものとする。
・個人の行動予定（パーソナルデータ）を記入するページなどを用意。
・緊急連絡先等のセキュリティに関わる内容は患者等の目に触れないよう裏面にくるよう配慮する。

⑶主な内容

平時の備え、超急性期下での動き、医療救護所マップ、緊急連絡先など

⑷配布対象

四師会員の医療救護所要員、その他四師会員、登録看護師などの関係者

４　策定スケジュール（裏面参考１のとおり）

５　「卓上型マニュアル」骨子案（別紙：資料５のとおり）

６　検討事項

「12 ヵ月型」か「日めくり型」か（参考２のとおり）

＜参考１＞29 年度　医療救護班活動マニュアル等策定スケジュール

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	１０月	１１月	１２月	H30.1月	2月	3月
医療救護班活動マニュアル※					←→	マニュアル作成（案）案作成	←→		←→	マニュアル内容の作成	←→	←→	←→
卓上型マニュアルの作成	←→	卓上型マニュアル（骨子案）作成	←→		←→	卓上型マニュアル(案)作成	←→		卓上型マニュアル確定・印刷・配布	←→			
専門部会における検討				専門部会検討①				専門部会検討②			専門部会報告③		
運営連絡会への報告													運営連絡会報告

※医療救護班活動マニュアルは、卓上型マニュアルの内容を盛り込んで別途作成する。

＜参考２＞12 ヵ月型・日めくり型のメリットとデメリット比較表

	メリット	デメリット
12 ヵ月型（24 P 分）	●カレンダー機能があるため、卓上など身近で使われやすく自然とマニュアル・内容を目にしやすい ●同じページを１ヵ月間目にすることで内容がより理解される	◆カレンダーなので毎年更新・メンテナンスの必要がある ◆日めくり型に比べて情報量が７P 少ない ◆カレンダー表示のスペース分１P 当たりの情報量も少なくなる ◆マニュアル・内容を１周するのに１年かかる
日めくり型（31P 分）	●情報量が７P 分多く確保できる ●毎年の更新・メンテナンスの必要がなく同じものを比較的長期に利用できる	◆毎日、毎日、複数回めくってもらえるか疑問、めくり忘れのおそれがある ◆カレンダー機能がないため災害意識がない方は卓上などに置かない可能性がある